

3i研究会 「情報を力に変えるワークショップ」

～第7期の概要説明～

2019年7月4日

アドバイザー（東京） 武藤謙次郎

アドバイザー（大阪） 出口 哲也

アドバイザー紹介

アドバイザー（東京）

武藤 謙次郎

イノベーションリサーチ株式会社 取締役副社長

<https://www.innovation-r.com/>

群馬県出身。中央大学法学部法律学科卒業。AIPE認定シニア知的財産アナリスト。システムメーカーに入社し、特許情報分析の手法開発や分析ツールの企画営業、操作講習、システムサポート等、特許情報分析に関するシステム全般に関わった後、特許事務所にて、クライアント企業に対する情報分析・コンサルティング業務に従事し、現職に至る。

主に製造業の企画部門、事業部門、研究所等に対し、マーケティング視点を重視した特許情報分析や、そのエッセンスを凝縮した“イノベーションレポート”を提供する。ビジネスに効く知財情報の活用法を日々探求している。

知的財産アナリスト有志優秀答案発表会 初代グランプリ（2012年）。知的財産アナリスト特別賞（知的財産教育協会 2015年）。

◇主な担当講座

- ・ 知的財産情報解析（知的財産アナリスト認定講座 2015年～）
- ・ 知財分析手法論（東京工業大学大学院キャリアアップMOT知的財産戦略コース 2016年～）

◇主な執筆

- ・ 日本人技術者流出の実態 最大の転職先はサムスン（日経ビジネス 2013.7.8）
- ・ 特許情報から見た植物工場ビジネスの今（IPマネジメントレビュー14号）
- ・ ビジネスに生きる特許情報分析シリーズ 全4巻（アップロード）

アドバイザー（大阪）

出口 哲也

神鋼リサーチ株式会社 知的財産情報本部 知的財産二部 部長

広島県出身。広島大学工学研究科卒業。農学博士。

神戸製鋼所に入社し、研究開発に従事。知的財産部に異動し国内外特許出願・権利化、特許情報分析、渉外、企画に係る業務を担当。開発企画部に異動し、CTOスタッフとして全社研発行政に係る業務を担当。神鋼リサーチに異動（出向）し、現職に至る。

◇主な社外活動

- ・ 地球環境産業技術研究機構 企画調査グループ
- ・ 日本知的財産協会（JIPA） 国際第1委員会 副委員長
- ・ 技術情報サービス協会（ATIS）特許情報研究分科会
- ・ 3i研究会 第3期、第4期

■ こんな人にぴったりの研究会です

- ✓ 情報を調べるのは好き。それを散発的に行うのではなく、じっくり時間をかけ、大きな目標に向かって実践してみたい！
- ✓ 特許調査はできる。しかし、もう少し視野の広いビジネス全体を俯瞰した分析もやってみたい！
- ✓ 情報分析の講座は受けたことがある。しかし、実践するには大きなギャップを感じる！

■ 情報分析とどう向き合うか

重要なのは、テクニック？

⇒いいえ、それは後から付いてきます。

データがそろえば、あとは勝手に結果がわかりますか？

⇒いいえ、そんなわけではないです。

情報分析とどう向き合うか

データ分析結果を持って行って、こんなこと言われた経験はありませんか？

で？

情報分析とどう向き合うか

情報分析でまず重要となるのは

- ✓ 仮説設定
- ✓ ストーリーづくり

前提として、特許調査と違い、正解が存在しません。
そのため、重要となるのが、仮説設定とストーリーづくりです。

データ分析は、仮説があって、初めて解釈ができます。
単にデータを眺めているだけでは何も生まれません。

データ分析は、ストーリーに乗って初めて活きます。
ストーリーの詰めが甘いと、「で？」と突っ込まれます。
また、必要のない情報を伝えてしまったりします。

情報分析とどう向き合うか

仮説を作る力 ストーリーを作る力 はどう伸ばすか

仮説を作る力、ストーリーを作る力は、どれだけ考える経験をしたかが大きく影響します。幅広く、また深く考える上で、仲間との切磋琢磨が有益です。

今回の3i研究会では、発表の機会を多めに作っています。いろいろな人から指摘を受けたり、他のグループへ意見したりすることで、実践的な論理性が磨かれます。

- ✓ **どんどん指摘を受けて、強靱なストーリーを作っていく経験をしよう！**
- ✓ **様々な人たちとコミュニケーションを重ねることで、多くの気づきを得よう！**

情報分析で未来が分かるのか

情報分析から未来を知りたい、それは誰しもが望むこと。
しかし、そう簡単に予知ができるわけではないです。

でも大切なのは、正確な予知ができることよりも、どれだけ議論したかというプロセスであると考えます。熱い思いの詰まった分析はなにより魅力的です。間違いを恐れずにぜひトライしてみましょう！

	占い・予言	情報分析
的中率	○?	△
論理性	×?	○
特徴	結果重視	プロセス重視

開催スケジュール

実施回	東京@JST	大阪@大工大	内容（予定）
開催前	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 研究したいテーマの洗い出し ✓ その理由を整理しておく
第1回	8/8	8/20	<ul style="list-style-type: none"> ✓ チームリーダー・サブリーダーなど役割分担決め ✓ 研究テーマの選定ディスカッション
第2回	9/12	9/19	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 研究テーマの選定ディスカッション、同確定
第3回	10/10	10/15	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 研究テーマと各人の役割について、概要を発表 ✓ 作業上の詳細な役割分担決め
第4回	11/14	11/26	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 分担に基づいて研究推進
第5回	12/12	12/17	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 中間発表資料提出、簡易発表 ✓ 他グループへの感想、提言
第6回	1/9	1/21	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 分担に基づいて研究推進
最終報告会	2/13	2/13	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 東京・大阪会場をSkype中継予定 ✓ 特許庁、特許情報機構など官公庁+ワークショップ参加関係者など
実施後	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ✓ INFOPRO発表資料準備（2020年6～7月頃） ✓ INFOSTA会誌「情報の科学と技術」準備（2020年夏～秋頃掲載予定）

第7期 3i研究会 募集研究テーマ

下記 6 つの 枠組みから 希望テーマを選択し、グループを形成（1 グループ あたり 4~5 名程度）。
第 1 希望以外のテーマ となる場合もありますのでご了承ください。

1. 先端技術トピック（例：AI、3D プリンター、IoT）における技術動向および技術動向予測
2. 社会課題（例：高齢化社会）を題材とした新規課題抽出
3. 企業数社を対象とした技術情報を用いたコア技術の特定手法開発
4. 自社コア技術を用いた新規用途・市場・顧客開拓
5. 特定企業の戦略的特許出願網の事例分析
6. コモディティ商品を事例とした戦略的特許出願網の構築手法開発

参加を検討しているみなさまへ

- ✓ 目的意識をもって参加してください
- ✓ グループでの担当割り振りでは、慣れていないパートにもチャレンジしてください
- ✓ 発表内容は、発表者以外の人も、全体を通して説明できるようになってください
- ✓ 自分のチーム以外の取組みにも注意を払い、多くを吸収してください

研究会でまたお会いしましょう！